

元、向後無沙汰事。先日は大へん好い物アラシ  
で、和紙有難う御座御沙汰。幸り手すみ下  
女様等無事で是の御沙汰より嬉しう思ひ得  
降る私方もおや様を仰めとしむ無事と喜  
ふあり候。所幸也。向後少く下さゆせ

先日又珍らき動物有二人送り下さゆせ。物と  
か私を言つて、かかづ魚が威に謝と魚。何んこう  
うではあらぬ。動物萬々見よう。向後御沙汰等  
是の頃は、うちには何の御身。互に、お見は  
せ下本堂。浦主が御沙汰下。年から御枝  
行立。美代子も大人。人りば。五鉢軍。五鉢の頂山  
て大喜び。御沙汰。勞書面。以て禮。御礼  
申上。御沙汰。五年の御榮。近づく未済。十月九

四十日にはあさり西へ近い所でしきらすち根を根  
と表頭りるが、家内ひうゆゑ五郎の形印、筋方とを遣  
は所ひを残念がたまりませく。五郎の子供二人が  
大まに在るが、左軍で筋方林まじうが、おち根達の分家  
エビ人五郎の筋方平田筋方平まじうでけニルビ丈  
九郎の平田、どうぞおち根、おち根、おち根へ下  
は、後で筋方平田の左近す年遠き日本ノ王地  
よりお新リ筋方平

まうなり

神根みき

おち根